



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東
コード番号 6425 URL <https://www.universal-777.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳田 一
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼CFO (氏名) 麻野 憲志 TEL 03-5530-3055
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	34,427	△3.0	4,023	△15.5	5,575	76.5	3,450	17.1
2023年12月期第1四半期	35,502	28.0	4,760	104.7	3,159	△71.0	2,946	△64.8

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 10,745百万円 (0.3%) 2023年12月期第1四半期 10,714百万円 (△21.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	44.53	44.53
2023年12月期第1四半期	38.02	38.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	647,618	399,134	61.6	5,150.06
2023年12月期	628,006	388,388	61.8	5,011.39

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 399,082百万円 2023年12月期 388,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	40.00	—	0.00	40.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2024年12月期（予想）期末配当は、未定としております。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	11.7	36,000	18.1	20,000	△47.5	19,600	△31.1	252.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	80,195,000株	2023年12月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	2,704,096株	2023年12月期	2,704,096株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	77,490,904株	2023年12月期 1 Q	77,483,954株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想について」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 連結業績予想について	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(4) 追加情報	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2024年12月期 第1四半期累計	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
個別(百万円)	14,379	2,255	4,387	2,303
連結(百万円)	34,427	4,023	5,575	3,450

遊技機事業においては、スマートパチスロの導入がパチンコホールの期待に応える好調な稼働を継続していることもあり、販売台数は28,014台となり前第1四半期と比較し3,111台増加しました。統合型リゾート(IR)事業では、マーケット全体がジャンケットビジネスの停滞に直面いたしました。また円安ドル高もあり為替差益の計上もあつた一方、社債利息はドル建てであり円安ドル高等の理由により前年同期比で増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、34,427百万円(前年同期比 3.0%減)、営業利益は4,023百万円(前年同期比 15.5%減)、経常利益は5,575百万円(前年同期比 76.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,450百万円(前年同期比 17.1%増)となりました。なお、事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。各業績数値はセグメント間売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

①遊技機事業

当第1四半期連結累計期間における遊技機事業の売上高は13,862百万円(前年同期比 24.4%増)、営業利益は3,929百万円(前年同期比 26.7%増)となりました。

遊技機業界では、スマートパチスロの稼働がパチンコホールの期待に応える好調な状況を継続しており、販売市場の状況も良好です。パチンコ機においては2024年3月にラッキートリガー搭載機の導入が始まり、稼働状況の回復もみられることから、今後さらなる市場の活性化が期待されます。

かかる状況下で当社は、A PROJECT最新作『ワードオブライツII』、不朽の名作ゲームがスロットで蘇るファミシロシリーズの最新作『SLOT忍者じゃじゃ丸くん』、パチンコ機においては『Pやじきた道中記 甘味ver.』の市場投入を行いました。また、市場で非常に高い評価を得ている『沖ドキ!GOLD』『スマスロバジリスク〜甲賀忍法帖〜絆2 天膳 BLACK EDITION』の増産販売を行いました。

②統合型リゾート(IR)事業

当第1四半期連結累計期間における統合型リゾート(IR)事業の売上高⁽¹⁾は20,375百万円(前年同期比 15.5%減)、営業利益は1,770百万円(前年同期比 57.2%減)となりました。また、調整後EBITDA⁽²⁾は6,026百万円(前年同期比 24.0%減)となりました。

当社グループが運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」では、第1四半期の実績が前年を下回る結果となりました。ゲーミング事業においては、マーケット全体がジャンケット⁽³⁾ビジネスの停滞に直面する中で、VIPのローリングチップ取扱高が大きく落ち込んだことに加え、VIP向けテーブルゲームの勝率が前年同期の3.4%から2.8%へ低下したことが、ゲーミング収益全体の主な減収要因となりました。ホテル運営事業は、客室単価、客室稼働率ともに前年と同水準を維持しており、来場者数も堅調に推移しております。なお、2023年第4四半期に発生したシステム障害は復旧し、業務上支障ない状況となっております。

(1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したもの

(2) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + その他の調整項目

(3) ジャンケットとは、世界各国のVIPをカジノに誘客し、移動や食事等の世話をする仲介業者のこと

③その他

当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は153百万円(前年同期比 15.3%減)、営業利益は114百万円(前年同期比 27.6%減)となりました。

メディアコンテンツ事業においては、まどか☆マギカシリーズ最新作『スマスロ劇場版 魔法少女まどか☆マギカ [前編] 始まりの物語 / [後編] 永遠の物語 f-フォルテ』のシミュレータアプリをApp Store・Google Playにて配信しました。基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」では、パチスロ機『コンチ4X』をモチーフにしたビデオスロットを追加し計58機種となりました。いずれのサービスも、機種数を増やすことでユーザーの新規獲得と満足度向上に努めております。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における財政状態については、以下のとおりです。

総資産の額は、円安ペソ高により固定資産が増加、非連結子会社に対する未収入金増加、持分法関連会社に対する貸付金増加により、前連結会計年度末に比べて19,611百万円増加し647,618百万円となりました。

総負債の額は、連結子会社における長期借入金の返済による減少、繰延税金負債の増加、円安ペソ高の進行によるリース債務の増加、円安ドル高の進行による1年以内償還予定の社債の増加により、前連結会計年度末に比べて8,865百万円増加し248,484百万円となりました。

純資産の額は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加、為替換算調整勘定についても円安ペソ高により増加したこともあり、前連結会計年度末に比べて10,745百万円増加し399,134百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①遊技機事業

遊技機業界における市場環境は、パチスロ機においては好調な稼働状況が続くスマートパチスロのさらなるシェア拡大、パチンコ機においてはスマートパチンコ及びラッキートリガー搭載機の普及により、今後のさらなる活性化が予測されます。

第2四半期は、主要タイトル機種である沖ドキ！シリーズ最新作『沖ドキ！BLACK』の販売を開始しました。また、パチンコ機ではラッキートリガー搭載機『PAハイスクール・フリート オールスター すい〜とでハッピー!2400』の市場投入と、『Pギルティクラウン2 プレミアムライブチケット』の販売を開始しております。

当社は引き続き、独自性のある魅力的な遊技機創出に努め、その魅力ある遊技機を通して遊技機業界全体の活性化に貢献するとともに、販売シェアの拡大に努めてまいります。

(ご参考) 2024年12月期 パチスロ・パチンコ販売台数

	第1四半期	第2四半期以降(受注見込)
販売台数(台)	28,014	22,100

(注) 第1四半期の実績については、「2024年12月期 第1四半期決算補足資料」

(<https://www.universal-777.com/corporate/ir/library/result/>) をご参照ください。

②統合型リゾート(IR)事業

フィリピン観光省の発表によると、2024年1月～3月の海外旅行客数は、全体で前年比20%超の増加となっております。かかる状況下でオカダ・マニラでは、人材採用・トレーニングを通じて、ゲーミング事業におけるマーケティング機能の強化を図ってまいります。フィリピン国内顧客層の拡大を目指し、マニラのあるルソン島以外からの国内需要を取り込むだけでなく、日本・韓国・その他東南アジア各国からの観光客の誘致を目的としたマーケティング活動の強化も図ってまいります。

非ゲーミング事業においても、当第1四半期にフォーブス・トラベルガイドの5つ星を5年連続で獲得するなど、「オカダ・マニラ」ブランドは着実に成長しております。引き続きクリスタルコリドーを利用した大型イベントの開催を継続することで、オカダ・マニラへの来場者数の増加を図ってまいります。なお、当社海外私募債の借換えについては、引き続き金融機関と交渉中です。

③その他

メディアコンテンツ事業においては、App Store・Google Playにて、引き続き高品質なシミュレータアプリや楽曲の配信を行ってまいります。月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」においても、サービスの改善、ユーザー満足度の向上に努めてまいります。

(4) 連結業績予想について

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,300	42,786
受取手形及び売掛金	11,039	6,721
有価証券	2,448	2,602
商品及び製品	3,399	2,152
仕掛品	13,839	15,411
原材料及び貯蔵品	10,988	11,169
その他	18,827	20,362
貸倒引当金	△884	△835
流動資産合計	103,958	100,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	349,706	362,437
建設仮勘定	6,670	6,294
リース資産(純額)	49,784	51,924
その他	36,636	39,002
有形固定資産合計	442,798	459,659
無形固定資産		
その他	1,795	1,844
無形固定資産合計	1,795	1,844
投資その他の資産		
投資有価証券	9,941	10,005
長期預け金	8,743	9,324
関係会社長期預け金	34,402	36,703
関係会社長期未収入金	11,423	11,457
その他	19,634	22,995
貸倒引当金	△4,992	△4,969
投資その他の資産合計	79,152	85,518
固定資産合計	523,745	547,022
繰延資産	301	226
資産合計	628,006	647,618

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,399	5,207
1年内返済予定の長期借入金	4,467	3,631
1年内償還予定の社債	113,810	122,369
未払金	6,492	5,665
未払費用	10,169	11,920
未払法人税等	81	94
賞与引当金	87	309
その他	20,230	18,759
流動負債合計	164,739	167,957
固定負債		
退職給付に係る負債	650	761
関係会社長期預り金	7,091	7,566
リース債務	56,650	59,749
その他	10,486	12,448
固定負債合計	74,879	80,526
負債合計	239,618	248,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	18,828	18,828
利益剰余金	364,273	367,723
自己株式	△7,298	△7,298
株主資本合計	375,900	379,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△39
為替換算調整勘定	12,620	19,938
退職給付に係る調整累計額	△163	△167
その他の包括利益累計額合計	12,436	19,731
新株予約権	51	51
純資産合計	388,388	399,134
負債純資産合計	628,006	647,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	35,502	34,427
売上原価	14,498	12,854
売上総利益	21,003	21,572
販売費及び一般管理費	16,243	17,549
営業利益	4,760	4,023
営業外収益		
受取利息	67	313
受取配当金	12	8
為替差益	1,434	5,639
持分法による投資利益	536	—
その他	54	420
営業外収益合計	2,105	6,381
営業外費用		
支払利息	1,374	1,109
社債利息	2,248	3,345
支払手数料	4	2
持分法による投資損失	—	230
その他	78	140
営業外費用合計	3,706	4,828
経常利益	3,159	5,575
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	2	4
関係会社株式評価損	—	149
特別損失合計	2	153
税金等調整前四半期純利益	3,158	5,422
法人税、住民税及び事業税	2	49
法人税等調整額	210	1,923
法人税等合計	212	1,972
四半期純利益	2,946	3,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,946	3,450

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	2,946	3,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△19
為替換算調整勘定	7,778	7,318
退職給付に係る調整額	2	△4
その他の包括利益合計	7,768	7,295
四半期包括利益	10,714	10,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,714	10,745
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社は4月26日開催の取締役会において代表取締役の異動を決議いたしました。

代表取締役の異動

新役職名	旧役職名	氏名	異動年月日
常務取締役	取締役	徳田 一	2024年4月1日
代表取締役社長	常務取締役		2024年4月26日
代表取締役	取締役	岡田 幸子	2024年4月26日
取締役	代表取締役社長兼CEO兼CIO	富士本 淳	2024年4月26日

詳細につきましては2024年4月26日に公表いたしました「当社代表取締役に対する株主代表訴訟の判決に関するお知らせ」「代表取締役の異動に関するお知らせ」を参照ください。